

実施している業務分担の効果のうち、入院中の療養生活に関する対応についてみると、「効果があった」と「どちらかといえば効果があった」の合計が医師責任者では 75.9%、医師では 41.7%、「どちらともいえない」がそれぞれ 18.1%、30.8%、「効果がなかった」と「どちらかといえば効果がなかった」の合計がそれぞれ 5.6%、26.8%となり、両者の間に大きな差異がみられた。

図表 175 実施している業務分担の効果
～⑨入院中の療養生活に関する対応～

